

教育方針

(1) 教育目標

児童生徒の病気や障害の状態及び発達段階等に応じ、一人一人に寄り添いながら、個性と能力を生かすきめ細やかな指導を実践することにより、自ら心身の健康回復・改善を図り、夢や希望に向かって意欲的に行動し、社会的役割を果たしながら自分らしい生き方を追求する児童生徒を育成する。

目指す児童生徒像	○友達や周囲の人たちに思いやりと感謝の気持ちをもって関わる児童生徒 (人間関係形成・社会形成能力)
	○自分の病気や障害を理解し、健康の回復・改善のために努力する児童生徒 (自己理解・自己管理能力)
	○目標に向かってあきらめずに学び、挑戦し、自分の力を高めようとする児童生徒 (課題対応能力)
	○自分のよさや可能性に気づき、自分の将来や生き方について考え、行動する児童生徒 (キャリアプランニング能力)

(2) 経営目標

- ①児童生徒の病気や障害、特性に対する理解を深め、病状の変化に合わせてながら、個に応じた指導・支援を充実させる。併せて、児童生徒が安心して学べるように、適切な健康管理・安全指導を実施するとともに、教育環境の整備・充実を図る。
- ②小・中・高の系統性・連続性を踏まえた教育課程を編成し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善及び遠隔授業等を含めた ICT 機器の利活用により、生きる力（確かな学力・豊かな心・健やかな体）の育成に取り組む。
- ③家庭や医療、福祉・労働等の関係機関及び地域と連携・協働し、児童生徒がこれからの共生社会の創り手となる資質を育む「社会に開かれた教育課程」の実現を目指す。
- ④児童生徒一人一人の適性と志望に応じた進路実現と一生涯に渡り豊かに生活するためのキャリア教育に取り組む。
- ⑤研究や研修を充実させ、教職員の専門性と指導力の向上を図り、学び続ける教師集団の醸成に努める。
- ⑥特別支援教育のセンター的機能を充実させ、病弱教育の充実・発展に寄与する。
- ⑦本校の教育活動に関する情報発信に努め、理解・啓発を図り、地域に信頼される学校づくりに取り組む。
- ⑧円滑な学校事務運営と学校施設の安全管理に努める。
- ⑨全ての教職員が心身ともに健康で、基本的人権を尊重して協働する職場環境づくりに努める。

(3) 本年度の努力目標

- ①病気や障害の状態や特性を理解し、個に応じた指導・支援を提供する場である病弱特別支援学校の使命を果たすための、全職員による学校運営への参画
- ②小中高の系統性・連続性を意識し、カリキュラム・マネジメントを取り入れた教育課程の編成・実施及び一人1台タブレットを活用した個別最適化と学習習慣への取組強化
- ③個別の教育支援計画や移行支援計画を中心に据えた各関係機関との連携・協働及び卒業生や進路先である福祉事業所等からの情報収集と進路指導への活用
- ④キャリア発達を促すキャリアパスポートの活用及び社会生活の基盤作りと自立した生活のための自立活動の充実
- ⑤特別支援学校の専門性向上のための研修の充実及び教科や自立活動の指導力向上のための自主研修等の促進
- ⑥地域の教育的支援を必要とする児童生徒に適切な指導・支援や合理的配慮が行われるための教育相談の充実及び特別支援教育コーディネーターの人材育成
- ⑦ホームページの充実及び地域の資源や人材を活用した学校の活性化
- ⑧児童生徒の増加や校舎の老朽化等への対応及び学びやすく働きやすい設備と物品等の整備保管
- ⑨児童生徒の情報共有や教材研究の時間を確保するための業務削減及び同僚性を重視する職場作り